

事務事業評価シート(補助金事業)(平成25年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
11133	辰野町有害鳥獣駆除対策協議会補助金	産業振興課	農政係	飯澤 誠	足助 和実	
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 12 日	連絡先〔内線〕	2141	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0603		農業振興事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A				
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	1章	豊かな自然環境を育み活かすまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	豊かな自然の保全と創出	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	1項	豊かな自然環境と田園風景の保全	
		目〔主な施策〕	(コード選択)	3目	有害鳥獣被害の防除	
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	年度	
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 / 10)	(県 / 10)	(国 / 10)		

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等 公益法人 企業や団体 個人

(交付団体名 : 辰野町有害鳥獣駆除対策協議会)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

野生鳥獣による農産物等の被害の把握と被害防止を図る。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	辰野町猟友会による有害鳥獣駆除の実施
2	国の交付金を使つての電気柵等の設置

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	有害鳥獣駆除実績		1,207	1,373	2,000	0.69	2,000
	説明	有害鳥獣を駆除した実績		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 実績値				
②	指標名	電気柵等の設置		2,795	3,451	4,000	0.86	4,000
	説明	電気柵等の設置範囲(長さ)		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 実績値				

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度					
事業費(円)		3,794,738			8,566,098			3,840,639			4,500,000					
補助率(町負担分)		25.3%			11.9%			37.4%			27.6%					
町交付額(一般財源)(円)		960,000			1,020,000			1,437,000			1,240,000					
財源内訳	特定財源	国庫支出金														
		県支出金														
		地方債														
		その他	2,834,738			7,546,098			1,966,000			3,260,000				
	一般財源	960,000			1,020,000			1,437,000			1,240,000					
人件費の概算		(千円)														
対前年比		%														
		平成23年度決算			平成24年度決算			平成25年度決算			平成26年度見込み					
		2,081			2,037			2,063			2,047					
		/			97.9			101.3			99.2					
		年間人件費			年間人件費			年間人件費			年間人件費					
		/			/			/			/					
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.29	0.29	0.29	0.33	0.33	0.33
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

妥当性	1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか)	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由} 農作物への被害が増えている。
	2. 社会情勢上必要ですか	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由} 全国的に増加傾向にある。
	3. この補助金は広く町民のためになっていますか	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由} 農作物への被害を減少させるため
	4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由} 被害が町内全域であり、住民の要望がある。
有効性	5. 事業の効果が具体的に把握できていますか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由} 捕獲実績
	6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由} 駆除することにより、被害の軽減に繋がっている。
公平性	7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由} 捕獲の資格がある有害鳥獣駆除者に対する補助
その他	8. これまでに見直しの実績はありますか	A	A 補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由} 被害を防止するための必要
	9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか		農産物・山林等の被害の減少	

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
有害鳥獣駆除の要望は増えており、引き続き防止対策が必要	[反映内容] 辰野町有害鳥獣駆除対策協議会補助金 1,240,000円		

(7) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	電気柵等の有害鳥獣被害防止対策を実施した。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
駆除に対する要望は増えている。効果的な対策を図る上でも研究・検討が必要	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択